

2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 02 月 05 日作成)

小委員会名	シール接合構法小委員会		主 査 名：小野 正 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (防水工事運営委員会)		委員長名：田中亨二 (主 査 名：小野 正)
設 置 期 間	2005 年 04 月 ~ 2008 年 03 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (簡条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・板ガラスのシール接合構法における構造接着の問題に関する調査研究 ・2005 年度(上期：委員の補強・情報収集, 下期：情報収集) ・2006 年度(上期：情報収集(ヒアリング), 下期：情報収集(ヒアリング)・シールの役割の整理・課題の絞込み) ・2007 年度(上期：課題の絞込み・試験計画・調査報告書の作成, 下期：調査報告書の作成・学術発表) 		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有 小野正(清水建設), 檜垣恭一(戸田建設), 安達浩(東レ・ダウコーニング), 今井啓介(信越化学工業), 高原正弘(板硝子協会：前任), 磯崎敏正(板硝子協会), 野口修(マサル), 宮内博之(東京工業大学), 米丸啓介(清水建設)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2006 年度予算	15,000 円	ホームページ公開の有無：無し 委員会 HP アドレス：無し	

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 研究計画の通り, 2005 年度の委員会メンバーによる情報収集から 2006 年度は, ガラスメーカー 3 社, 外装コンサル 1 社, サッシメーカー 1 社から情報提供をいただき, 現状の問題点などを収集した。 2. ヒアリング結果を踏まえて, 現状の問題点の整理と今後の対応についてまとめる。
委員会活動の問題点・課題	1. 学会としての構造シーラントの使用上のガイドラインを作成するためには, 構造シーラントの硬化初期の養生条件と硬化後の品質(接着性, 伸縮性)に関する基礎的な試験や強度設計手法のマニュアル化が必要となる。

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。